

2025年3月18日

## 「ぎゅっとクロセチン」「ぎゅっとグルコサミン」 「ぎゅっとアスタキサンチン」を機能性表示食品として発売

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、「ぎゅっとクロセチン」「ぎゅっとグルコサミン」「ぎゅっとアスタキサンチン」を機能性表示食品として2025年4月21日に発売します。

目・ひざ関節・肌に関する健康課題がある幅広い年齢層をターゲットとし、商品の機能的価値を訴求します。

なお、2025年4月から2026年3月までの3品合計の販売目標は112千ケースです。



### 【商品特長】

- 「ぎゅっとクロセチン」は、目のピント調節をサポートする機能が報告されているクロセチンを、1個（80ml）に7.5mg配合した機能性表示食品です。（届出番号：J622）
- 「ぎゅっとグルコサミン」は、移動時のひざ関節の悩みを改善する機能が報告されているN-アセチルグルコサミンを、1個（80ml）に500mg配合した機能性表示食品です。（届出番号：J624）
- 「ぎゅっとアスタキサンチン」は、紫外線の刺激から肌を守ることを助ける機能と、肌の水分量（うるおい）と肌の弾力を維持することを助ける機能が報告されているアスタキサンチンを、1個（80ml）に3mg配合した機能性表示食品です。（届出番号：J623）

## &lt;届出表示&gt;

## 「ぎゅっとクロセチン」

本品にはクロセチンが含まれます。クロセチンは、目のピント調節をサポートする（パソコン作業などにより生じる目の調節機能の低下を和らげる）ことが報告されています。

## 「ぎゅっとグルコサミン」

本品にはN-アセチルグルコサミンが含まれます。N-アセチルグルコサミンは、移動時におけるひざ関節の悩みを改善することが報告されています。

## 「ぎゅっとアスタキサンチン」

本品にはアスタキサンチンが含まれます。抗酸化作用を持つアスタキサンチンは、紫外線の刺激から肌を守ることを助ける機能と、肌の水分量（うるおい）と肌の弾力を維持することで、肌の乾燥を緩和し肌の健康を守るのを助ける機能があることが報告されています。

- ・本品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。
- ・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
- ・多量に摂取することにより、疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。
- ・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

## ◆商品情報

- ・商品名：「ぎゅっとクロセチン」  
「ぎゅっとグルコサミン」  
「ぎゅっとアスタキサンチン」
- ・商品分類：清涼飲料水
- ・集積形態：36個／ケース
- ・容器・容量：紙容器・80ml／個
- ・希望小売価格：158円／個（税別）
- ・販売チャネル：ヤクルトレディによる訪問販売  
スーパーマーケットなどでの店頭販売

以上

## &lt;参考資料&gt;

「ぎゅっとクロセチン」

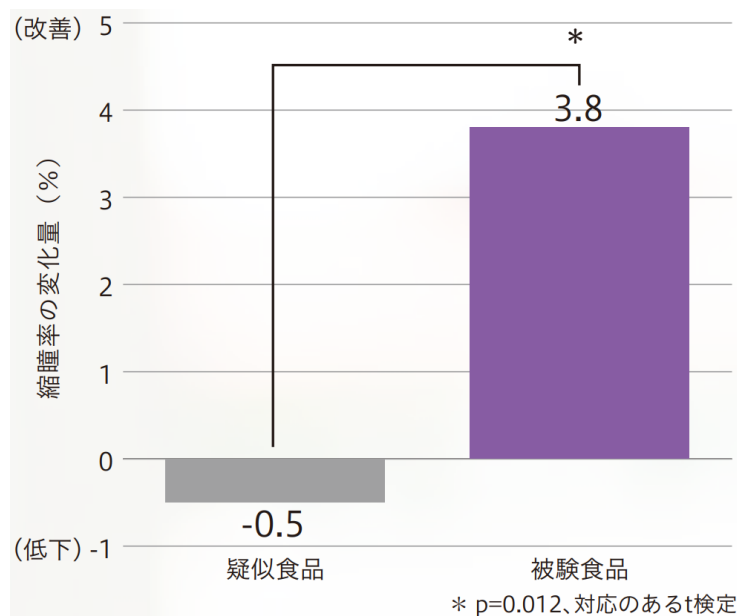
## 【クロセチンの目のピント調節サポートに対する機能】

1. 健常成人 22 名（20 歳以上、40 歳以下）にクロセチン 7.5mg を含む食品を、対照食品として疑似食品（味や外見は同じで、有効成分を含まないもの）を 4 週間摂取してもらいました<sup>※1</sup>。摂取 4 週後に VDT<sup>※2</sup> 作業負荷を実施し、その後、安静にさせました。VDT 作業負荷後および安静後に目のピント調節機能検査（縮瞳率<sup>※3</sup>）を行いました。
2. その結果、安静前後の縮瞳率の変化量において、左右眼平均は、被験群が対照群より有意に高値（ $p=0.012$ ）を示しました。

※1 本試験は、ランダム化二重盲検プラセボ対照クロスオーバー試験にて実施しました。被験者は 4 週間の期間を空けて被験食品および疑似食品のどちらも摂取しました。

※2 Visual Display Terminal：パソコンのディスプレイに代表される情報表示機器

※3 光の刺激に対する瞳孔の収縮率を示し、目のピント調節機能の指標とされており、目が疲労した時には縮瞳率が低下することが報告されています。



## &lt;出典&gt;

海貝 尚史 他. Visual Display Terminal 作業に伴う調節機能低下に対するクロセチン摂取の影響 - ランダム化二重盲検プラセボ対照クロスオーバー試験 -. 日本補完代替医療学会誌. 2017, 14(1), 9-16.

## 《データ選択理由》

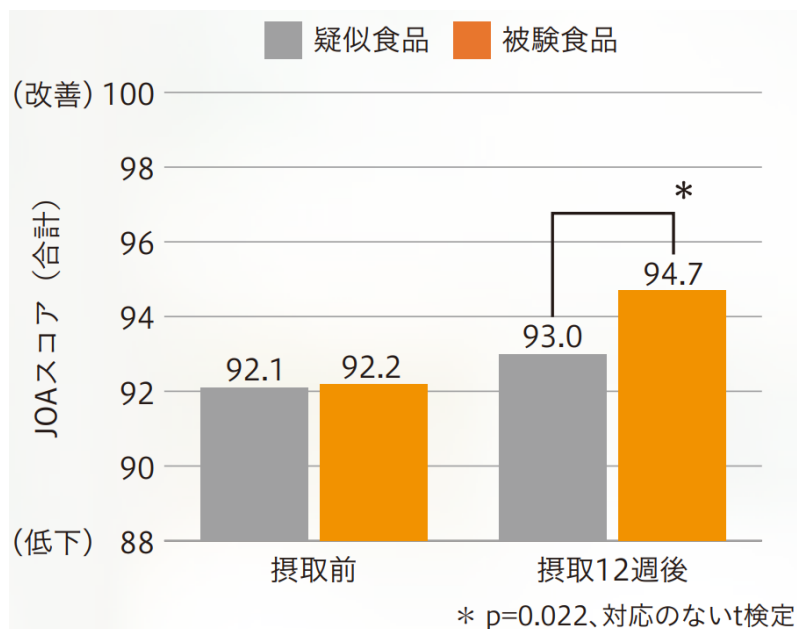
研究レビューの対象となった論文のうち、代表的なデータを提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

「ぎゅっとグルコサミン」

【N-アセチルグルコサミンのひざ関節の悩み改善に対する機能】

1. 健常成人 100 名（20 歳以上、70 歳未満）をランダムに 2 群に分け、被験群には N-アセチルグルコサミン 500mg を含む食品を、対照群には疑似食品（味や外見は同じで、有効成分を含まないもの）を 1 日 1 錠、12 週間摂取してもらい、JOA スコア<sup>※</sup>を測定しました。
2. その結果、JOA スコア（合計）の摂取前後の変化量において、被験群では対照群と比較して、摂取 12 週後で有意な改善を示しました。

※JOA スコアは、日本整形外科学会が定める膝の状態を評価するための基準であり、歩行能力・階段昇降能力などの観点から評価します（100 点満点で点数が高いほど正常）。



<出典>

久保村 大樹 他. プラセボ対照ランダム化二重盲検並行群間比較による N-アセチルグルコサミンの摂取が健常者の膝関節の違和感に及ぼす効果および安全性確認試験. 応用薬理. 2020, 99(3/4), 71-77.

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的なデータを提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

## 「ぎゅっとアスタキサンチン」

## 【紫外線の刺激から肌を守ることを助ける機能】

1. 健常成人女性 26 名（20 歳以上、39 歳以下）をランダムに 2 群に分け、被験群にはアスタキサンチン 3mg を含む食品を、対照群には疑似食品（味や外見は同じで、有効成分を含まないもの）を 1 日 1 粒摂取してもらいました。被験者は試験食品を 8 週間摂取し、摂取後 4 週間目に右上腕内側に紫外線照射を行い、8 週間目まで、メグザメーター<sup>※</sup>を用いた肌色の測定を行いました。
2. その結果、赤み・炎症の指標である紅斑の消退において、被験群では対照群と比較して、紫外線照射 14 日後および 21 日後に有意な改善を示しました。

※皮膚の色を構成する主な要素であるメラニン色素とヘモグロビンを計測し、紅斑の評価に使用される測定器具

## &lt;出典&gt;

佐藤 朗 他. 紫外線による成人女性の肌の暗色化に対する内服アスタキサンチンの軽減効果. 応用薬理. 2011, 80(1), 7-11.

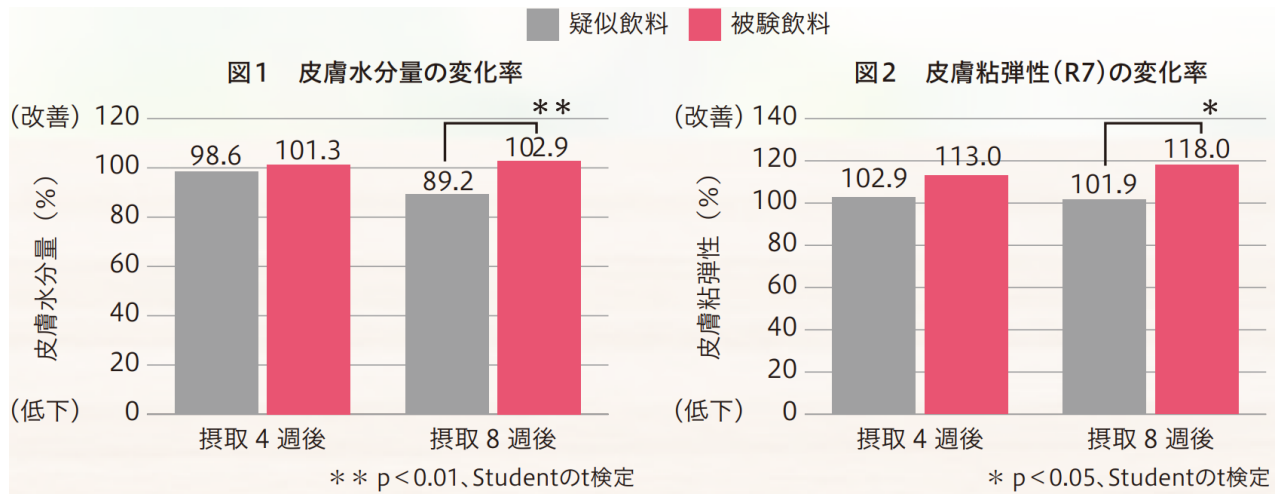
## 《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的なデータを提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

## 【肌の乾燥を緩和し肌の健康を守ることを助ける機能】

1. 健常成人女性 20 名（30 歳以上、50 歳未満）をランダムに 2 群に分け、被験群にはアスタキサンチン 3mg を含む飲料を、対照群には疑似飲料（味や外見は同じで、有効成分を含まないもの）を 1 日 1 本、8 週間摂取してもらいました。肌の水分量に対する指標として皮膚水分量を、肌の弾力に対する指標として皮膚粘弾性（R7）<sup>※</sup>を測定しました。
2. その結果、摂取前値に対する皮膚水分量の変化率において、被験群では対照群と比較して、摂取 8 週後で有意な改善を示しました（図 1）。また、皮膚粘弾性においても、被験群では対照群と比較して、摂取 8 週後で有意な改善を示しました（図 2）。

※皮膚の弾力性を評価するための指標であり、皮膚が引っ張られた後にどれだけ元の状態に戻るかを示す「回復弾性」を表しています。



#### <出典>

塚原寛樹 他. アスタキサンチン含有飲料の肌におよぼす影響. 日本補完代替医療学会誌. 2016, 13(2), 57-62.

#### <<データ選択理由>>

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的なデータを提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。